

SWX2310 Rev.2.04.17 リリースノート

---

ファームウェアのリビジョンアップを行う前に必ずお読みください

---

Rev.2.04.11以降のファームウェアには、無名ユーザーの廃止などログインに関わる重要な変更が含まれています。  
リビジョンアップ前の設定状況によっては、リビジョンアップ後に今まで使用していたユーザー・パスワードでログインできなくなる可能性があります。

リビジョンアップを行う場合は必ず事前に以下のWebサイトを確認してください。  
[http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/strengthen\\_security.html](http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/strengthen_security.html)

---

SWX2310 Rev.2.04.14 からの変更点  
(メーカーリリース版Rev.2.04.16含む)

---

■脆弱性対応

- [1] OpenSSLの以下の脆弱性対応を行った。  
- CVE-2023-2650 (JPCERT/CC JVNVC#94584169)

■機能追加

- [1] ADECIAとのセキュリティ連携機能に対応した。

[http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev\\_2\\_04\\_16/oam/oam\\_adezia\\_security.html?rev=2.04.16&category=oam](http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev_2_04_16/oam/oam_adezia_security.html?rev=2.04.16&category=oam)

- [2] L2MSおよびWeb GUIのLANマップで、以下の機器に対応した。  
- SWX2220-18NT  
- SWX2220-26NT  
- SWX2220P-18NT  
- SWX2220P-26NT  
- WLX323  
- WLX322

- [3] DHCPスヌーピング機能に対応した。

[http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev\\_2\\_04\\_16/layer2/layer2\\_dhcp\\_snooping.html?rev=2.04.16&category=layer2](http://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev_2_04_16/layer2/layer2_dhcp_snooping.html?rev=2.04.16&category=layer2)

Web GUIの詳細設定の[Layer2機能]-[DHCPスヌーピング]で、DHCPスヌーピング機能の設定を行うページを追加した。

- [4] ジャンボフレームをルーティングできるようにした。  
VLANインターフェースのMTU値を設定するコマンドを追加した。  
- mtu

Web GUIの詳細設定の[インターフェースの設定]-[VLAN]-[VLANの作成]で、MTUを設定できるようにした。

- [5] ARPエントリーの保持時間が満了したときに送信するARPリクエストをユニキャストとブロードキャストのどちらで送信するか設定するコマンドを追加した。
  - arp-ageing-timeout request
- [6] 未知のマルチキャストフレームの処理方法を設定するコマンドをVLANインターフェースモードに追加した。
  - 12-unknown-mcast

Web GUIの詳細設定の[マルチキャスト]-[マルチキャスト基本設定]で、未知のマルチキャストフレーム関連の設定をVLANごとに行えるようにした。
- [7] LLDP自動設定で、ヤマハの特定のDante対応機器が送信するLLDPフレームを本機が受信すると、そのLLDPフレームを受信したポートに対してtlv-select basic-mgmtコマンドが自動的に設定されるようにした。
- [8] Web GUIのダッシュボードに消費電力情報ガジェットを追加した。
- [9] Web GUIの管理の[保守]-[統計情報の管理]で、SDカードを挿入していなくても集計データをエクスポートできるようにした。
- [10] Web GUIの詳細設定の[トラフィック制御]-[QoS]に、Web会議アプリケーション向け最適設定画面を追加した。
- [11] DHCPv6クライアント機能に対応した。

[https://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev\\_2\\_04\\_17/layer3/layer3\\_ipv6\\_basic.html?rev=2.04.17&category=layer3](https://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev_2_04_17/layer3/layer3_ipv6_basic.html?rev=2.04.17&category=layer3)

- [12] sFlow機能に対応した。
  - Web GUIの管理にsFlow機能の設定ページを追加した。

[https://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev\\_2\\_04\\_17/oam/oam\\_sflow.html?rev=2.04.17&category=oam](https://www.rtpro.yamaha.co.jp/SW/docs/swx2310/Rev_2_04_17/oam/oam_sflow.html?rev=2.04.17&category=oam)

- [13] ADECIAセキュリティ連携機能で、「このスイッチを探す」機能に対応した。
- [14] Web GUIで英語表示に対応した。
- [15] Web GUIの管理にRMON機能の設定ページを追加した。
- [16] Web GUIの管理に「このスイッチを探す」ページを追加した。

## ■仕様変更

- [1] スタック機能で、メンバースイッチが再接続されたとき、スタックの再構築が完了するまで一時的に通信を停止させていた制限を解除した。
- [2] ARPエントリーの保持時間が満了したときにARPリクエストを送信してARPエントリーを更新するようになった。
- [3] リンクアグリゲーションに收容されている物理インターフェースに対してmac-address-table staticコマンドを設定できないようにした。  
mac-address-table staticコマンドが設定されている物理インターフェースにリンクアグリゲーションを設定したときはmac-address-table static設定を削除するようになった。
- [4] MAC認証機能で、一部のマルチキャストパケット(IGMP, MLD)を認証トリガーの対象に追加した。
- [5] ポート認証機能で、論理インターフェース所属の物理ポートにポート認証系のコマンドを設定したときのエラーメッセージを変更した。

- [6] 以下のグローバルコンフィグレーションモードのコマンドを廃止した。
- l2-unknown-mcast forward <ipv4\_addr> <vlan\_ifname>
  - no l2-unknown-mcast forward <ipv4\_addr> <vlan\_ifname>
- startup-configに記載されていた場合は、起動時に代替コマンドへ変換される。
- また、以下のマルチキャストフレームの転送設定コマンドをVLANインターフェースモードに追加した。
- l2-mcast flood
- [7] IGMP/MLDスヌーピングで、本機の設定と異なるバージョンのクエリーを受信したときのログ出力を廃止した。
- IGMP/MLDスヌーピングの以下のコマンドで、本機の設定と異なるバージョンのクエリーを受信した数を表示するようにした。
- show ip igmp snooping interface
  - show ipv6 mld snooping interface
- [8] 以下のコマンドの実行速度を改善した。
- show inventory
  - show ddm status
  - show tech-support
- [9] Web GUIのダッシュボードのヘルプのフォーマットを変更した。
- [10] Web GUIのLANマップで、接続機器のメーカー名を識別するために使用しているOUIファイルを更新した。
- [11] Web GUIのLANマップの機器一覧ページのエージェント一覧で以下の変更を行った。
- 最右部にIPアドレスの列を設けIPアドレスを表示するようにした
  - 「CSVで保存」ボタンで得られるCSVファイルにIPアドレスを追加した
- [12] Web GUIのLANマップの一覧マップでL2MSマネージャーのIPアドレスを表示するようにした。
- [13] Web GUIの管理の[Dante最適設定]で、VLANインターフェースを選択できるようにした。指定したVLANインターフェースとそれに属する物理インターフェースにのみを設定される。
- また、設定される内容を見直した。
- [14] Web GUIの管理の[Dante最適設定]-[手動設定]でDante最適設定を行ったとき、指定したVLANインターフェースに対して以下のコマンドが設定されるようにした。
- l2-mcast flood 224.0.1.129
  - l2-mcast flood 224.0.1.130
  - l2-mcast flood 224.0.1.131
  - l2-mcast flood 224.0.1.132
  - l2-mcast flood 239.254.3.3
  - ip igmp snooping report-suppression disable
- [15] ループ検出機能が論理インターフェースで動作するようにした。
- [16] ADECIAセキュリティ連携機能で、IGMPクエリアが存在しない場合でもデバイス自動認識機能が動作するようにした。
- [17] スタック有効時、LLDPによるDante最適設定が自動適用されないようにした。
- [18] LLDPによるDante最適設定の自動適用で設定される内容を見直した。
- [19] Web GUIのDante最適設定でLLDP機能と基本管理TLVを有効化するようにした。
- [20] Web GUIで、以下の文言変更を行った。
- 「管理パスワード」「管理者パスワード」の文言を「特権パスワード」に変更
  - CONFIGを保存したときの文言を変更
  - 単語表記を統一

## ■バグ修正

- [1] ポート認証機能が有効なインターフェースにおいてリンクダウンを伴わない端末の移動が発生すると、ARPエントリが更新されずその端末宛の通信が行えないバグを修正した。
- [2] ポート認証機能で、複数のサブリカントからの認証要求が重なったとき、認証に失敗することがあるバグを修正した。
- [3] ポート認証機能で、RADIUSサーバー側と異なるUDPポート番号を使用しているとき、ポート認証機能が動作しなくなることがあるバグを修正した。
- [4] ポート認証機能で、スタック再構成したあとに認証情報がスタックメンバーへ同期されないバグを修正した。
- [5] スタックを跨いだループ検出状態からスタックケーブルを切断しても、ループ検出状態が解消されないバグを修正した。
- [6] MLDスヌーピングで、マルチキャストグループアドレスの登録情報が正しく削除されず、不要となったストリームが転送され続けるバグを修正した。
- [7] システム全体の未知のマルチキャストフレーム処理の設定が正しく反映されないことがあるバグを修正した。
- [8] `no ip address`コマンドを実行するとき、不適切なエラーメッセージが表示されることがあるバグを修正した。
- [9] MLDスヌーピングで、マルチキャストルーターの接続先を設定するとき、不適切なインターフェースを設定してもエラーにならないバグを修正した。
- [10] `reload`コマンド実行時に、稀に起動履歴が正しく保存されないことがあるバグを修正した。
- [11] ループ検出状態のままループ検出機能(システム全体)を無効にするとエラーログが出力されるバグを修正した。
- [12] 最大物理ポート番号でループ検出(shutdown)したとき、`show errdisable`コマンドを実行すると不要なVLANインターフェースの情報が表示されるバグを修正した。
- [13] Web GUIのLANマップの履歴で、ファン復旧時に表示される英文のメッセージが正しく表示されないバグを修正した。
- [14] LANマップの一覧マップで、印刷画面のレイアウトが正常に表示されないバグを修正した。
- [15] LANマップの機器一覧の端末一覧タブ画面で、検出したエージェントが消失端末として表示されることがあるバグを修正した。
- [16] LANマップの端末管理機能が有効なとき、接続機器ビューの取得日時が本来の時刻より1秒進んだ値で表示されることがあるバグを修正した。
- [17] Web GUIのダッシュボードのヘルプページで、警告表示の一覧表に、L2MSマネージャーが重複したときの警告についての項目が表示されないバグを修正した。
- [18] Web GUIのLANマップのヘルプページで、通知履歴の一覧表にファン復旧のメッセージが表示されないバグを修正した。
- [19] Web GUIのヘルプページで、バックスラッシュと¥マークが混在しているバグを修正した。
- [20] Web GUIのヘルプページの管理の[統計情報の管理]で、[集計データのバックアップ設定]-[入力内容の確認]の説明文のボタン名と実際のボタン名が一致しないバグを修正した。

- [21] Web GUIの表示上のバグを修正した。
- [22] 802.1X認証で、EAPフラグメントサイズが大きいRADIUSパケットを受信したときにリブートすることがあるバグを修正した。
- [23] ipv6 enable/disableコマンドを繰り返し実行するとメモリーリークが発生するバグを修正した。
- [24] ループを検出したときにスタックが切断されることがあるバグを修正した。
- [25] ADECIAセキュリティ連携機能でセキュリティ設定を無効にしたとき、稀に通信できなくなることを修正した。
- [26] MAC認証で、スタックが再構成したときなどFDBエントリが全てクリアされるタイミングで、通信できなくなることがあるバグを修正した。
- [27] SNMP機能で、ループ検出情報のプライベートMIBを取得したとき、正しい値が取得できないことがあるバグを修正した。
- [28] WLX402/WLX313のRADIUSバックアップファイルをインポートしても失効証明書リスト表示に反映されないバグを修正した。
- [29] 特定のTELNETサーバーへTELNET接続できないバグを修正した。
- [30] Web GUIのダッシュボードでスタックメンバーを表示しているとき、リソース情報と消費電力情報ガジェットで[Day], [Month], [Year]からデータがない期間を選択すると、画面の切り替わりに時間がかかりエラーログが出力されるバグを修正した。
- [31] Web GUIの管理の以下の画面で、設定画面に設定値が反映されないことがあるバグを修正した。
  - [SNMP]-[MIB]-[管理情報の設定]
  - [SNMP]-[コミュニティ]-[コミュニティの設定]
  - [SNMP]-[SNMPv3ユーザー]-[MIBビューの設定]
  - [SNMP]-[SNMPv3ユーザー]-[グループの設定]
  - [SNMP]-[SNMPv3ユーザー]-[ユーザーの設定]
  - [SNMP]-[SNMPトラップ]-[トラップ種別の設定]
  - [SNMP]-[SNMPトラップ]-[トラップ送信先の設定]
  - [LLDP]-[システムの設定]
  - [LLDP]-[インターフェースの設定]
  - [メール通知]-[メールサーバーの設定]
  - [メール通知]-[メール通知の設定]
  - [端末監視]-[端末監視の設定]

---

#### ■更新履歴

Nov. 2023, Rev. 2.04.16 リリース  
Jan. 2024, WLX323/WLX322に関する情報を追記  
May. 2024, Rev. 2.04.17 リリース

以上